

豊中市 刀根山校区地域自治協議会

「地域づくり活動計画」

概要書

2023（令和5）年3月

1.刀根山校区地域自治協議会「地域づくり活動計画」のわらい

刀根山校区地域自治協議会（以下「自治協」と呼びます）は2015年4月4日に設立されました。設立の目的（後に全体ビジョンに移行）は今も引き継がれています。

みんなで築こう「ふるさとづくり まちづくり」心豊かなまち！！ 刀根山

以来、今日まで各種団体と密接に連携しながら、「TONEYAMA 夏フェス」（旧「ふるさと刀根山夏まつり」）に代表される地域住民の絆や交流を深めるためのイベントの開催、「防災・避難訓練」に代表される地域住民のセーフティネットに関わる取り組みの実施、「ふるさと刀根山」の発行に代表される地域情報の周知、伝達等、地域住民が刀根山校区で、楽しく愛着を持って安全・安心して暮らしていくために必要な取り組みを展開してきました。

設立後7年が経過し、この間、地域では幾つかの自治会が解散に至ったほか、各種団体で活躍する人材の高齢化も進んできました。また、地域に暮らす住民も、地域外からの転入者の増加、世代交代等が進み、これまで培ってきた地域に根差したコミュニティに陰りが見えてきていると思われます。

しかし、地域住民が安心して楽しく暮らしていくためには、地域コミュニティの維持が重要であり、次代に相応しい新しいスタイルの地域コミュニティの形成、住民相互の理解の醸成に少しずつでも取り組んでいくことが求められます。

このような状況にあって、自治協では「地域づくり活動計画」を策定し、自治協の位置づけを明確にし、各種団体との関係を見つめ直し、計画的な取り組みの実行等を推進することといたしました。地域ビジョンを受けて、「地域づくり活動計画」は、以下の目標をもとに地域住民にとって相応しいコミュニティづくり、ふるさとづくりに取り組むための指針となることを期待しています。

日々の暮らしを豊かにし、安全で安心して住まえる、住民の、住民による、住民のための地域コミュニティ“刀根山校区地域自治協議会”の創造

2.刀根山校区地域自治協議会の構成団体と活動分野のご紹介

刀根山校区では、様々な団体が、住民の皆様のための活動に取り組んでいます。

団体	自治会 連合会	公民 分館	福祉 委員会	防犯	赤十字	PTA	民生児童	青少年健 全育成会	おやじ の会	共同 募金	若水会	自治協
主な活動分野	防災防犯 福祉 健康 環境整備 交流親睦 広報	健康 教養 社会教育 交流親睦 広報	福祉 健康 教育・子育	防災防犯 環境整備	防災 福祉 健康	防災防犯 健康 教育・子育 環境整備 人づくり 広報	福祉 教育・子育	防災防犯 健康 教育・子育 交流親睦 人づくり 広報	教育・子育 交流親睦	福祉 交流親睦	福祉 健康 交流親睦	防災防犯 福祉 健康 教育・子育 環境整備 交流親睦 人づくり 広報

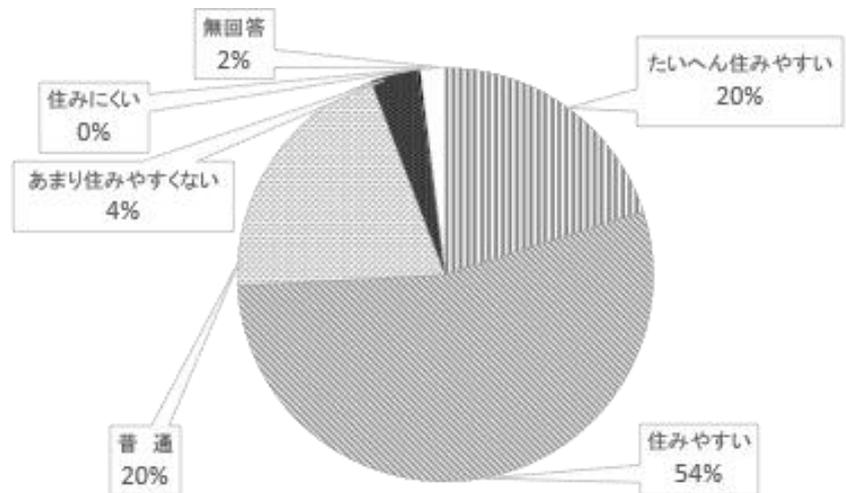
3.「ふるさと刀根山の活性化を考えるアンケート調査」の結果について

自治協では2021年12月に「ふるさと刀根山の活性化を考えるアンケート調査」を実施し、住民のみなさんの地域に対する考えを伺いました。(配布6,820通 回収414通、内Web回答96通)

【居住者の暮らしについて】

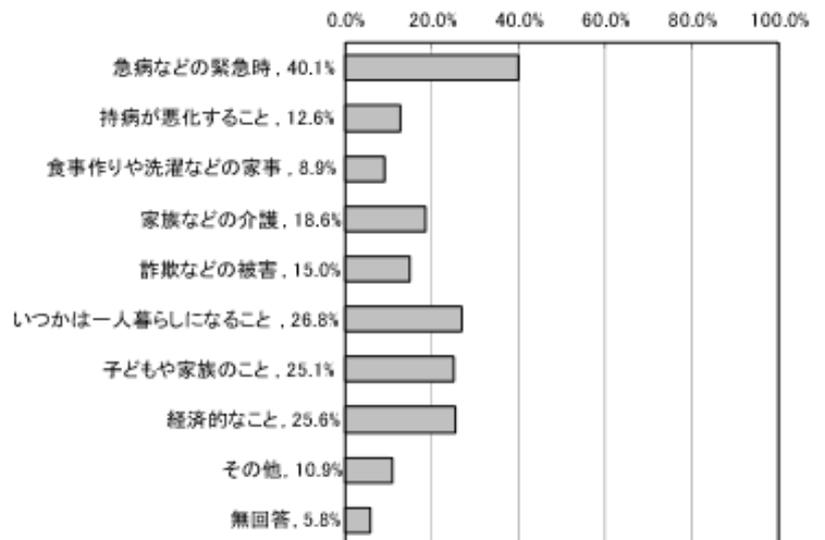
「たいへん住みやすい」、「住みやすい」が75%。その理由(複数回答)としては、「安全安心して暮らせる」65%、「自然環境が良い」50%、「長年住み続けている」43%でした。地域への“愛着がある”ということでしょうか?! 「教育・子育て環境が良い」も27%でした。

「住みにくい方」にとっては、「買い物不便」75%、「行政の支援が少ない」38%、「医療環境が良くない」「近所づきあいが希薄」が30%、「生活費が高い」25%でした。



【日常生活の不安】

「不安なこと」としては、「急病などの緊急時」が40%、「一人暮らしになること」や「家族のこと」が25%強でした。これらはコミュニティの課題に繋がる部分と思われます。



【地域活動との関わり】

地域の活動、行事への参加経験は、「祭り、イベント等」、「防災活動」が26%でした。「参加したことがない」住民は40%で、その理由は「忙しい」40%、「活動を知らなかった」30%でした。

交流活動は「積極的に行うべき」「やや そう思う」が70%弱で、コミュニティ活動の必要性は多くの方が感じているようです。

40代以下の層では夏まつり、キャンドルナイトなどのイベントへの参加指向が強く、50代以上では防災・避難訓練等の生活の安全安心に関わる活動への指向が高いと感じられます。

「地域自治協議会(自治協)」については、「知らない」が56%で、活動の中身も含めて特に地域活動に関わっていない普通の住民の方々に情報が届いていないということから、普及啓発の不断の努力が必要と感じられます!

自治協ができたことによって「行事への参加機会が増えた」「交流の機会が増えた」が10%強で、自治協の存在価値を高める取り組みにより、さらに活発な参加が期待できると考えています。



4.刀根山校区地域自治協議会が考えること、今後取り組むこととその展望

【刀根山校区における活動の当面の取り組み方針】

刀根山校区では、基本的には自治会や公民分館、福祉委員会などの各種団体が、今も尚それぞれの目的を果たすべく機能し、様々な活動を展開しています。

そこで当面の間は刀根山校区では、住民自治に関する各分野の取り組み、活動について、

各種団体によるこれまで通りの地道な取り組みを中心に進めます

こととします。



【自治協の取り組み方針】

自治協としては、

【方針1】

各種団体と協働で実施している防災訓練などの地域住民及び地域全体のセーフティネットに係る活動を中心に取り組む

【方針2】

特に子育て世代などを対象とした地域全体に関係するまつりやイベントなど、地区内の交流親睦を主な目的とする分野横断的な取り組みを中心に、適切な役割分担のもと取り組む

【方針3】

地域内の様々な活動を集約し、一斉に地域に情報発信するための広報PR（「ふるさと刀根山」の継続配信）を中心に取り組む

【方針4】

これまで地域との接点が無かった住民へのサービスやサポートの充実、人と人との新しい関係づくりに積極的に取り組む

この4つを取り組み、活動の基本方針として、様々な自治活動に取り組むこととします。



【地域自治活動における自治協の取り組み理念】

自治協は、以下に示すような考えのもと、自治活動の推進、住民相互の絆づくりに取り組みます。

①自治協は、その構成団体の活動の維持や充実のための支援を積極的に行うことを基本とします。

②自治協構成団体と自治協の部会は住民が安全・安心で楽しく暮らせるための地域活動を行います。

③地域活動により住民の地域への愛着を促します。

④自治協は、住民と地域団体の良い関係の構築を図ります。



【自治協が役割を果たすための指針】

自治協は、以下に示す役割を積極的に担い、暮らしやすい地域づくりに取り組みます。

①地域に居住する住民の要望や自治会等の持つ課題を集約し、地域活動に反映するとともに、必要に応じて行政等につなぎます。

②安全・安心な地域づくりのために地域住民のセーフティネットである防災と福祉の維持向上に向けた支援を図ります。

③楽しく暮らせるための各世代にわたる事業の実施を調整し支援します。

④ジェンダーギャップを解消し、女性が活躍できる地域社会づくり、若者が活躍できる地域社会づくりを先導します。

⑤地域及び地域活動状況の変化を集約・把握し、中・長期の事業戦略につなぎます。

⑥地域活動の連絡の場として運営委員会を活用して状況の変化への対応を図ります。

